



妙高市地域づくり協議会は、市内53の自治会や町内会、地区協議会などで組織され、『住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる持続可能な地域コミュニティの構築』を目指しています。

当協議会では、令和7年度の目標に『一人ひとりが声を掛け合い多世代で参加しやすい地域づくりを進めよう』を掲げ、共助活動や地域づくり活動の活性化を図るため、女性や若者の地域参加を進める勉強会や座談会、地域同士の交流促進に取り組んでいます。



## 地域づくり取組発表会 令和7年10月4日

みようこうグッドライフフェア～IKAZUCHI2025～の開催に併せて、地域づくり取組発表会を開催しました。

今回は、「多世代で支え合う安心な地域へ～住み続けられるまちづくりを～」をテーマに3団体からそれぞれの地域における取り組みについて発表してもらいました。



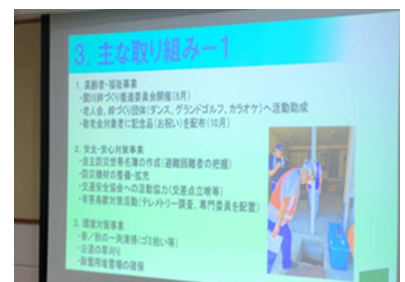
### ○水上地区コミュニティ推進協議会



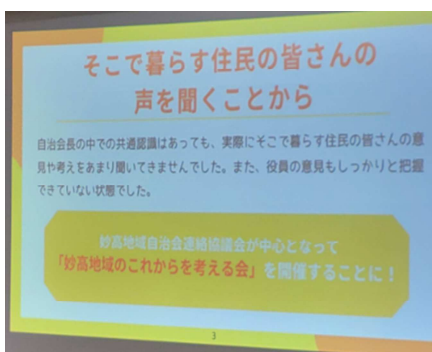
「地域づくり学習会 & 座談会」の開催後、コミュニティ行事に対するアイデアの実現として、昨年「水上コミュニティの日」を5年ぶりに復活開催し、地域のコミュニティ行事として定着を図っています。また、協議会の役職や運営、組織の見直しを専任プロジェクトで検討し、昨年の臨時総会で改正内容が承認されました。今年度からは、総務委員会を「運営会議」に名称を変更し、地区内の情報共有、課題解決に繋げています。さらに、新たな取り組みとしてLINE(ライン)を活用した広報活動にも挑戦中で、役員メンバーで試行運用を開始しました。

### ○関川区

高齢者が増加傾向にある関川区では、災害に対して区民一体の取り組みが必要と考え、防災に力を入れた活動を行っています。毎年1回の防災訓練では、役員に加えて、現役の民生委員、看護師、栄養士、調理師やその経験者が参加し、避難時の救護、健康管理など、避難後を想定した訓練を実施しています。また、令和7年からは、3カ年で災害用備蓄品(テント、浄水器、大人用おむつ等)の整備や、日常の用水点検、高齢者の見守り活動など、防災活動を通じて顔の見える地域活動に取り組んでいます。



### ○妙高地域自治会連絡協議会



妙高地域では、自治会単体での活動が困難になってきた部分を補い合うために、地域で活動するNPO 法人 ふるさとづくり妙高と連携しながら、「妙高地域で1つのコミュニティ」を目指しています。

令和6年度は、住民の皆さんの声を聞くことから始め、若者世代・女性・男性別で全4回の意見交換会を行い、令和7年度は、自治会ごとに、意見交換会を実施し、課題を明確化させながら、役員体制や活動内容を整理するための棚卸し(洗い出し)も進めています。

これからの時代に合ったやり方や、役員の負担軽減に繋げていくため、話し合いを今後も続けていきます。

## ■ 妙高市地域づくりSDGs交付金 ～活用事例紹介～

SDGs交付金は、地域づくり団体(市内53団体)が自主的・主体的に行うコミュニティ活動を支援することを目的とした市の交付金制度です。基礎交付金と上乘せ交付金で構成され、上乘せ交付金は”地域選択型交付金”で、地域が取り組んでいる、または、新たに取り組みたい活動を支援するものです。

交付要件についての詳細は、市のHPをご確認ください。



市HP  
QRコード

### 大鹿自治協議会 ～花いっぱいのまちづくり活動～



大鹿自治協議会では、環境美化活動「妙高きれいワーク」による妙高地域一斉の清掃活動に合わせて、地域の入り口にある「清流公園」の花植えと、周辺道路の清掃や雑草除去を行いました。当日は、子どもからお年寄りまで約60名が活動に参加しました。

大鹿自治協議会長の岩崎さんは、「同じ日に同じ場所で同じ作業を地域の老若男女が揃って行えることが素晴らしいです。久しぶりに顔をあわせて会話を花を咲かせている人も見られ、このような活動を大切にしていきたいです」と話していました。

地域の皆さんの活動により、清流公園は色とりどりのマリーゴールドで華やかになりました。

【交付金額:30,000 円】

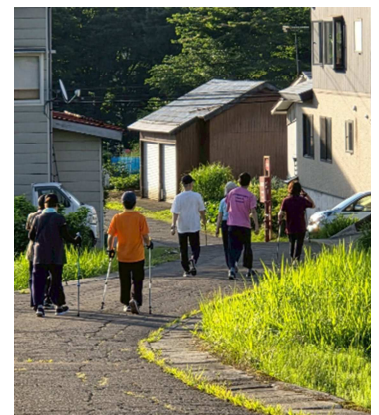
### 田切公民館 ～楽しく運動・健康づくり活動～

田切公民館では、健康づくりとして、令和3年より「サンデーウォーキング & ラジオ体操」をはじめました。現在は、「健康ウォーク」としてウォーキングを年間12回開催し、毎回子どもからお年寄りまで参加しており、世代を超えたコミュニケーションに繋がっています。

参加者からは、「一緒に参加している人と会話も弾み、無理なく自分のペースでウォーキングできるのがいい」、「開催日が楽しみで、今後も続けてほしい」などの声があり、健康づくりとコミュニケーションを両立しています。

また、市の協力を得ながら住民自身の健康状態を知る機会として、「健康測定会」を実施し、地区全体で健康づくりに取り組んでいます。

【交付金額:20,000 円】



### 渋江町町内会 ～子ども育成活動～

渋江町子ども会では、春の「風まつり」から歓送迎会まで、子ども同士の交流や地域活動を通して子どもの育成に取り組んでいます。

親子旅行では、ピザ作りと染物体験を行い、生地から作った焼きたてのピザは大好評でした。玉ねぎの皮を利用した草木染めにチャレンジし、出来栄は上々で、エコな体験を親子で楽しみました。

また、町内の納涼会では、子どもたちがお店番をして、アイスとスーパーボールすくいを出店し、行事を盛り上げました。

防災訓練では、起震車による地震体験や、防災関連のクイズで楽しみながら災害の怖さを学ぶなど、地域全体で子どもたちとふれあう機会を大切にし、世代を超えたコミュニケーションを深めています。

【交付金額:50,000 円】



# 美守地域づくり推進委員会 ～地域で取り組むSDGs活動～

平成7年の「7.11 水害」から今年で30年の節目を迎え、美守地区では、改めて災害時の備えを考える「防災学習会」を開催しました。

市の防災担当者から、自主防災組織の大切さや指定避難所の役割、家庭用備蓄品などの説明を受け、その後、住民同士の「助け合い・支え合い」について意見交換をしながら考えました。

学習会をきっかけに、10月に行われた「第42回 町内運動会」では、防災訓練の要素を取り入れた競技が中心に行われました。紙に書かれた備蓄品をチームで協力して集めたり、担架搬送リレーなど、参加者は楽しみながら防災について学ぶ機会になったようです。

美守地域づくり推進委員会長の平出さんは、「いざという時に備え、町内の顔の見える関係づくりを構築していきたい。住民みんなが安心して暮らし続けられる地域を目指していきたい。」と話していました。

【交付金額:2,000 円】



## ■ 各地域の取り組み

### 新井南部地区 ～移動販売～



昨年春先より、セブンイレブンの移動販売車が運行しています。長沢、除戸、上堀之内の3地区で、食品や日用品を中心に販売し、高齢のかたも気軽に買い物に行けるよう、販売場所や日時は地域とセブンイレブンで話し合って決めています。

利用者からは、「車の運転ができないので、家の近くまで販売に来てくれるのはありがたい」、「牛乳やパンなどちょっとした買い物ができて便利」、「夏はアイスが食べられて嬉しい」などの声が聞かれました。

また、買い物に来て近所の方と顔を合わせることで、コミュニケーションの場にもなっているようです。

### 諏訪町町内会 ～敬老者を祝う集い～

コロナをきっかけに様々な行事が行われなくなる中、「何か楽しいことをやろう」と、役員の思いが一致し、「敬老者を祝う集い」の復活に繋がりました。今回、上越市のシンガーソングライター “くろみつ”さんに出演を依頼し、フォークライブを開催しました。

ライブが始まると、演奏に合わせて拍手喝采となり、参加者も一緒に歌いながら、楽しいひと時を過ごす様子が見られました。ライブ後は、お楽しみ抽選会や記念写真を撮るなど、会場は終始、温かな雰囲気にも包まれていました。

諏訪町町内会長の渡部さんは、「開催前の早い段階からチラシを配り、役員みんな協力しながら声掛けをしたことで、多くの参加に繋がりました。皆さんの笑顔が見られ、役員の思いが通じた行事となりました。やってみて良かったです！」と、達成感が溢れていました。



## 妙高地域 ～住民参加型の意見交換会から繋がった新たな取り組み～

妙高地域では、自治会単体では困難になってきた部分を補い合えるコミュニティを目指して、住民の声を聞くことから始め、各地で意見交換会を行っています。

その中で、「各地区で横のつながりをもって、地域行事から全体で行っていく」、「今あるものを活かして楽しいことから始めてみる」などの意見が多数出されました。NPO 法人ふるさとづくり妙高を中心に毎年開催している「妙高ふるさとまつり」の企画段階から地域住民に関わってもらおうと、住民参加型の「話し合いの場」を設けることになりました。

30～60代までが集まり、意見交換会を開催し、たくさん出されたアイデアの中から、4つのブースの実施が決定し、「妙高ふるさとまつり」の当日は、新たな取り組みとして会場を盛り上げ、地域全体の一体感がより一層深まりました。住民同士の交流や若い世代の地域活動への参加に繋がっていくため、これからも活動を継続していきます。



## 水上地区コミュニティ推進協議会 ～LINE による「地域情報」の発信～

水上地区では、2年前に実施した「地域づくり学習会&座談会」の中で、「若い世代にはなかなか地域の情報が届かない」、「地域でどんな活動をしているかわからない」などの意見が出されました。そこで、地域の情報をより多くの住民に発信していくことを目的に「公式LINE」を活用した取り組みを始めました。

LINE で「水上地区コミュニティだより」や地域行事の開催情報などを発信することから、活動を広めていきます。まずは、役員を中心に試行的に発信を行い、今後、地域住民の皆さんにも周知していきます。



### 公式 LINE の活用について

地域の情報を電子化することで、様々な世代に周知することができます。場所や時間に縛られず情報を何度も確認することができ、災害時には即座に情報を共有することもできます。地域づくり協働センターでは、公式 LINE アカウントの立ち上げから、活用についての「住民向け説明会」などのお手伝いをしています。皆さんの地域でも、LINE を活用した情報発信を始めてみませんか？ 地域づくり協働センターまでご相談ください。

## 下平丸地区 ～春祭り “ジャンボ・スゲ牛巡行”～



地元の有志の皆さんが企画し、春祭りに行われていた“ジャンボ・スゲ牛”の練り歩きが7年ぶりに行われました。集落の皆さんと企業や関係団体、妙高里山応援団が集落を練り歩き、沿道の皆さんも手を振るなど、春祭りを盛り上げました。また、麗らかな春の陽気にも誘われて沢山の皆さんが訪れ、久しぶりに顔を合わせた皆さんは会話も弾み、春の一日を楽しんでいました。

「妙高里山応援団」は、地域だけでは困難な草刈り等の共同作業、集落行事などを支援し、交流や美しい里山の景観を地域と一緒に守っています。

【お問合せ】 妙高市地域づくり協議会 事務局（妙高市地域づくり協働センター）

TEL: 73-7808 E-mail: kyodo@city.myoko.niigata.jp